

能『ロミオとジュリエット』を楽しむ

今田 美奈子

IMADA Minako

私は洋菓子とテーブルセッティングを展示する華麗な展覧会を開催し毎回数万人もの見物客をむかえる食卓芸術の仕事をしています。それを成功させる秘訣は舞台芸術と全く同じです。1つのテーブルには三つの一致があり、王妃等の主人公の存在が明確で、1日のできごとの物語と場所、目標が感動的に表現されなければなりません。日本の能はこれをスピリチュアルな世界、幻想的な霊界に導き、静かな感動を楽しむものです。今回の能「ロミオとジュリエット」は誰もが知っているはでなラブストーリーをお能で表現する珍しくて画期的なコラボレーションでした。

これを魅力的に盛り上げたのはロミオとジュリエットの死後の舞いのシーンです。西欧的な華やかさと甘美さが溢れていました。シェイクスピアがよく用いる方法で突然亡霊を登場させて、舞台芸術の時の一致の掟を破り、大衆を喜ばせる彼の手法とかみ合います。そうしたシェイクスピアのドラマと霊界をステージとする日本の能をコラボレーションさせたことは、上田邦義先生の観客へのサービス精神と卓越したアイデアによる成功であると思います。東西の舞台芸術の合体の新しい出発と言ってもよいでしょう。

(洋菓子・食卓芸術家、国際食卓芸術アカデミー協会会長)